

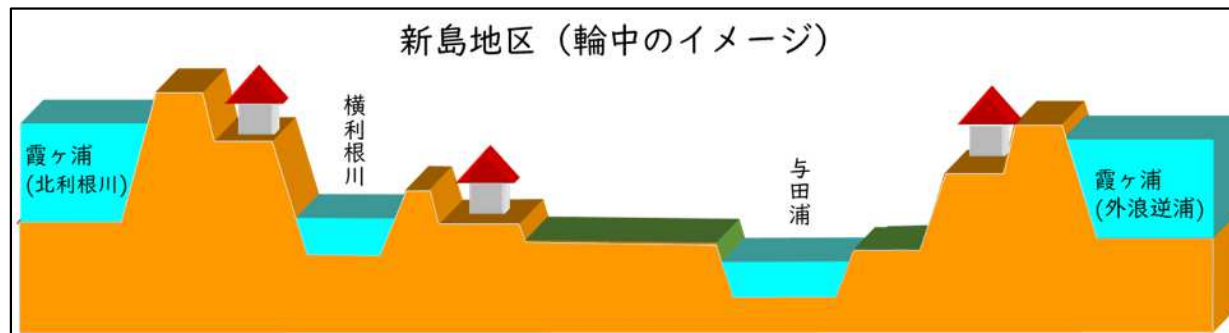
参考資料 (対策事例)

『河川の事前水位低下操作による浸水被害軽減』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 (1) 内水氾濫対策

浸水被害の低減（与田浦流域 約30km²）

与田浦流域は、利根川・横利根川・北利根川・外浪逆浦に囲まれた輪中地帯（低標高地域）である。浸水対策として大雨が降ることが予想される場合、事前に与田浦の水位を低下させ、河道内の貯留容量を確保し、降雨時の流出の一部を貯留することにより、流域の浸水被害の低減を図る。



- ・ 関係機関（千葉県香取土木事務所、香取市、関係土地改良区）と確認書を締結し、以降、大雨により与田浦の水位上昇が想定される場合に、事前水位低下操作を実施。
- ・ 今後も引き続き実施していく。

『防災気象情報の普及・啓発』

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1) 防災気象情報の普及・啓発

■ 取組の概要

気候変動による大雨の激甚化に対応して、市町村が適切な避難情報を発令し、住民が適切な避難行動を行うために防災気象情報の読みとりや利用方法について習熟することが効果的である。気象防災ワークショップや茨城県防災気象連絡会等各種連絡会、出前講座等を利用して防災気象情報の普及・啓発活動を行う。

・ 気象防災ワークショップ



・ 茨城県防災気象連絡会



・ 自治体等と連携した防災知識の普及



・ 出前講座



・ 教育機関と連携した学校防災の推進



『移動式排水ポンプ車の導入及び操作講習会の実施』

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 (2) 浸水被害への対応を強化

■ 取組の概要

近年頻発する台風や大雨による河川の氾濫などによる浸水被害への対応を強化するため、新たに災害対応用の移動式排水ポンプ車を令和6年度導入いたしました。導入に伴い、地元区長、自主防災組織、防災士、地元消防団、災害協定を交わしている市建設業協会、市職員などを対象とした「排水ポンプ車操作講習会」を開催し設備の周知を図るとともに、水害時の円滑かつ効果的な活用を推進していく。



『農業用ため池等の事前放流による**浸水被害軽減**』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
(1) 内水氾濫対策

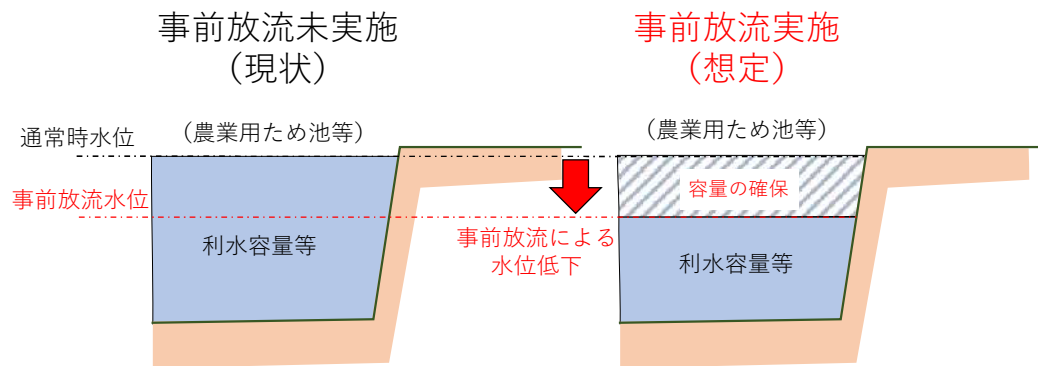
農業用ため池等の流域の貯留施設で、大雨が降ることが予想される場合に事前に霞ヶ浦へ排水することによって、貯留施設の水位を下げて流出を抑制させるための容量を確保し、市街地などの浸水被害の軽減に寄与します。

1) 農業用ため池、ゴルフ場内池からの事前放流



農業用ため池（潮来市：川尾池）

自治体と農業利用者の協力により、農業用として利用されているため池について、降雨が事前に想定される場合について、貯水の一部を事前に放流することで流域からの流出を貯留し、流出の抑制、浸水被害の軽減を図る。



茨城県は、国内でも上位のゴルフ場を擁する県であり、霞ヶ浦周辺にも、多くのゴルフ場施設が存在している。これらのゴルフ場に協力頂き、場内の池を有効に運用することで、浸水被害軽減を図る。

2) 農業用ため池等を活用した浸水被害軽減

農業用ため池等の既存の貯水施設を活用した浸水被害軽減を行っていく

『マイ・タイムラインの普及促進』

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1) 学校教育への促進

■ 取組の概要

学校教育の一環として防災・避難訓練を実施し、幼いころからの防災意識の高揚を図るために、マイ・タイムラインの作成講習会を実施しているが、ペッパー君を活用することで、児童・生徒の防災に対する興味と関心をさらに高めることにより、水害についての勉強会を拡充し、被害削減に努めている。



『SNS等を活用した情報伝達』

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
(2) 災害情報の伝達手段の拡充

■ 取組の概要

従来、台風や大雨災害時の避難情報の発信は、防災行政無線に頼っていたところである。気候変動による大雨災害の激甚化に対して市民に確実な災害情報の伝達を可能にするために、防災行政無線戸別受信機の貸与、市公式SNSを活用した情報発信を行うことで早期避難を促し、人命被害の軽減させる。

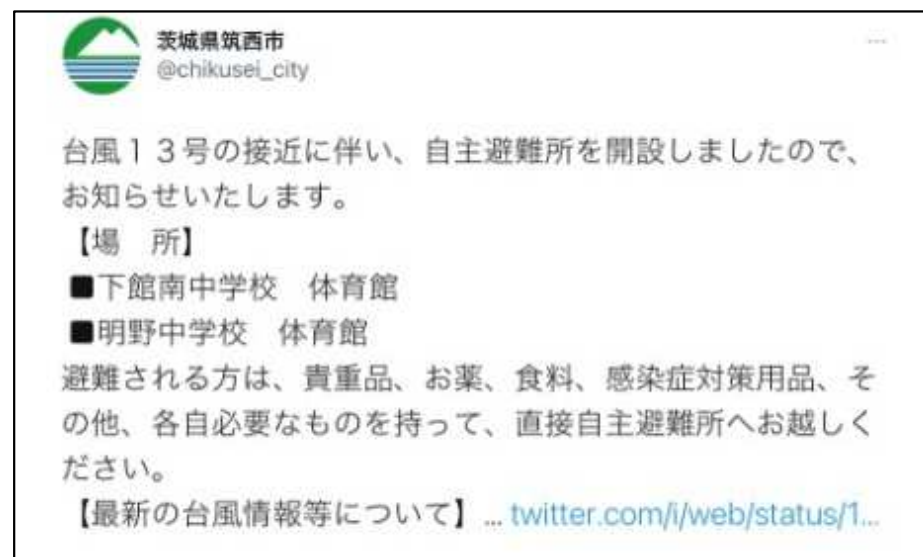
(LINE)



(インスタグラム)



X (旧Twitter)



『広域的な連携・協力（水防訓練の実施）』

- 3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - (3) 水防活動の効率化及び水防体制の強化

■ 取組の概要

霞ヶ浦に接する稲敷市、阿見町、美浦村の1市1町1村で例年5月に水防協議会を開催。会議で決定した内容の訓練を相互協力して実施している。R6年度は、土のう拵え・土のう積・シート張り・繋ぎ縫い等水防工法の訓練を実施し、相互連携・協力して地域住民を水害から守っていく。

また、R6年度は稲敷市が主催となり災害時の初動対応や情報収集などに使用される消防バイクの展示を行った。

(シート張り工法)



(繋ぎ縫い工法)



(バイク展示)

